

## 参考資料④

### 学校統廃合に係る各校学校運営協議会における意見集約

日高川町教育委員会

※「学校運営協議会（コミュニティスクール）」とは・・・学校と保護者・地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を目的として設置する組織のこと。

## ○統合に否定的な意見

### 【小学校】

- (01) できるだけ現状のままで。
- (02) 強く統合は望まない。
- (03) 「統合ありき」で進んでいるのではないか心配。
- (04) 地域のよって人口の増減がはっきりしてしまう。
- (05) 統合すれば児童生徒数は増えるが、これはメリットでもあるが、デメリットになる面もあり、一概にいいとも言い切れない。
- (06) 通学の負担が増す。バス通学になると不便になる。
- (07) 財政面における予算ぐらいしかメリットが思い当たらない。
- (08) 「統合」は、地域や保護者にとって全くメリットはない。
- (09) 地域に学校がなくなれば、地域の過疎化が進行する。若者定住に逆行する。
- (10) 地域愛が育てにくくなる。
- (11) 地域とともに取り組んできた伝統的な活動ができなくなる。
- (12) 地域での見守り活動ができなくなる。
- (13) 親の負担が増える（区から補助費等がなくなる）。
- (14) 保護者間の関係が希薄になり、教育活動が困難になる。
- (15) 保護者同士のトラブルが増えるのではないか心配。
- (16) 異年齢・異学年間の活動や交流、関わりが減り、つながりが希薄になる。
- (17) いじめが出てくるのではないか心配。
- (18) 子供たちと地域とのつながりが希薄になる。
- (19) 細部まで行き届いた教育が困難になる。
- (20) 町内1校に統合するのには無理がある。
- (21) 教育のICT化やオンライン、ネット環境の整備を考えると、必要に応じて集合学習のような形をとりながら、逆転の発想で小規模校を生かすやり方もあるのではないか。
- (22) 少人数の学校は少人数の良さがあるので・・・少人数すべてダメとはいえない。
- (23) コロナ禍の中だからこそ、少人数の特性が生かせる。
- (24) 先人方に苦勞して立派な学校を建てて頂いたという経緯があるので・・・そう簡単に諸手を挙げて快く統合に賛成とは・・・

### 【中学校】

・特になし

## ○統合に肯定的な意見

### 【小学校】

- (01) 総合的に考えて、統合を推進していくべきだと思う。
- (02) 子供のことや適正規模を考えると、今後統合はやむを得ない。
- (03) 質の高い教育をしていくためには、ある程度の児童生徒数が必要である。単式学級の維持を望む。
- (04) 各地域が日高川町全体を視野に入れた計画を進めるべきである。
- (05) 設備等の充実を図った上での統合を進めるべきである。

- (06) 新校舎を建設して、魅力ある学校づくりをしてほしい。
- (07) 校舎の老朽化もあり、設備等の充実を図った上での統合を進めるべきである。
- (08) 10年先を見据えていくなれば、「統合」についての意見をまとめていくことも致し方ない。
- (09) 将来的には統合は避けられない課題であるため、状況を見ながら進めていくようにしてほしい。
- (10) 町内3校程度に統合するのが理想である（通学面、地理的な面を考慮）。
- (11) 現状で1人学級、1人学年が存在することから、統合により1学年複数になることに意義がある。
- (12) 町内1校にするのには無理があると思うが、進められる地区は進めていくべきである。
- (13) 町全体において、少人数の地区については統合を進めていけばよいと思う。
- (14) 早蘇中学校の統合については、強く、早急に希望する。
- (15) 美山地区はできる限り早い段階で統合する方がよい。
- (16) 現実的に、美山3小学校で統合ではないか。早急に3校統合を進めてほしい。
- (17) 美山小中学校構想。
- (18) 統合となると旧中津村と旧美山村との統合が最善の策ではなかろうかと考える。
- (19) 少人数のよさもあるが、集団でできることが限られたり、競争心が芽生えにくいなどのデメリットも考えられ、子供たちの将来を考えると、ある程度の人数で学ぶことの方がメリットがあるため、統合を進めてほしい。
- (20) 今後も児童数の減少は避けられないから長期的な視野に立った統合を考えるべきである。
- (21) 川辺西小学校ができるとき、同時に川辺東小学校という考えも出たようだが、旧川辺町全体で1校、中津で1校、美山で1校という考え方もあると思う。

#### 【中学校】

- (22) 大勢のところで一緒になって学べることは、いろいろな人に出会え、魅力的である。
- (23) 少人数は少人数のよさがあるが、生徒の数が年々減少していく中で現在部活動の活動や運営の困難が生じている現状を見ると統合はしていくべきではないか。
- (24) 小学校も含んで、統合は考えていかなければならないが・・・今日、明日という話にはならず、時間を要するのでは。

### ○その他要望等

#### 【小学校】

- (01) 子供にとって一番いい環境は何かということを考える必要がある。
- (02) 今後の児童生徒数を考慮して検討していくべきである。
- (03) 住民が増えることを考えていくことが大切である。
- (04) 通学距離等を考慮して検討していくべきである。
- (05) 行政サイドではなく、住民の考えを中心に考えてほしい。
- (06) 地域住民の意見を十分に聞いた上で、手順を踏んで進めてほしい。
- (07) 保護者の考え、意見を尊重し、調査することが大事である。
- (08) 統合が進んだ場合でも廃校にせず「休校」ととどめておいてほしい。  
(様々な行政施策で将来人口が増加することも考えられる)
- (09) 中学校においては、部活動や教科担任の面から考えていかなければならない。
- (10) 行政が具体的な方針、プランを出して、地区懇談会等で説明しながら進めてほしい。
- (11) 小規模校だからできること、小規模校だから妨げになることを整理する。
- (12) 日高川町は地理的に広範囲であり、地域によって事情も異なり、一概に「統合」を考えるのは難しい面がある。
- (13) 小学校がなくなった場合、地域の衰退を招くという思いは理解できるが、現在の保護者や今後の保護者の意見を尊重すべきだと思う。

## 【中学校】

- (14) 生徒数の減少から部活動等にも支障が出てきている。今後も生徒数の減少が予想される中、統合は避けられない。中学校で複式授業をすることがないように考えなければならない。
- (15) 統合となる時期を見据え、逆算して取り組んでいかなければならない。地域の声を聞き、バランスも考慮し、慎重に取り組むべきである。
- (16) どこどこを統合していくかが大きな問題。まずは旧町村単位で考えるべきか。
- (17) 具体的な統合となると、川辺地区で3中学校を一つに統合するのか、丹生中と早蘇中を統合するのか、大成中と早蘇中を統合するのか、という方向性を出していかなければならない。
- (18) 教育現場の意見を集約してほしい。
- (19) 小、中学校に行く若い世代の人の声が決定権を持っている。
- (20) 保育所に在籍している保護者からも意見を聞き、集約していく方がよい。
- (21) 本気でする気なら、大きなものをつくるくらいの勢いで話をしてほしい。
- (22) 統合をおし進めるには地域・区の意向や三百瀬・川辺西両小学校保護者・学校運営協議会の意見をきちんと聞く必要がある。
- (23) 統合を考えても相手さんがあることなので・・・慎重に考えなければならない。
- (24) 統合に賛成・反対とは別に、今までの考え（生徒数が少なくなったから、カリキュラムの編成が出来ないから・・・数を多くする対応等）と言った固定概念で捉えるのではなく、柔軟なもっと違った発想、教育システム自体を変える等の対応が必要、特にこのコロナ禍の中で、今までの常識が常識でなくなっている・・・。
- (25) いずれは統合も考えていかなければならないが・・・エリアが広過ぎる。今日、明日という話にはならず、時間をかけなければならないのでは。
- (26) 町内での統合となると大成中の問題が出てくるのでは。
- (27) 学校・地域の要望も考慮しなければならないが、基本的に行政に方向を出してもらい、それに沿って話を進めるべきか。
- (28) 統合には時間がかかることを保護者に理解してもらう必要がある。
- (29) 今後日高川町の自治体の形が変わる可能性も考え、もう少し長い展望、広くくりで考えた対応が必要では。